

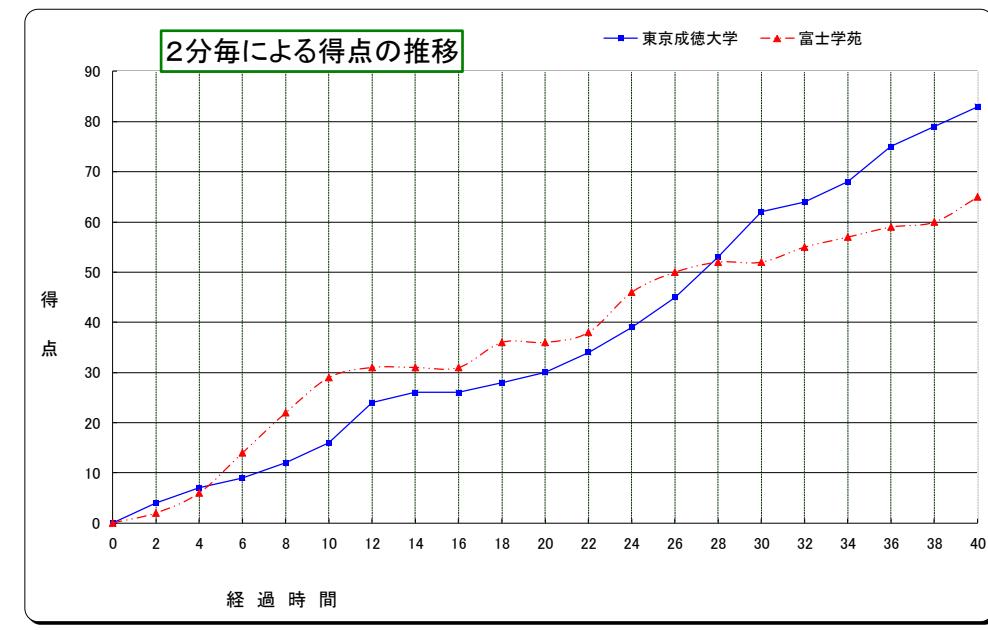
平成24年度第66回関東高等学校 女子バスケットボール選手権

平成24年6月9日(土)
さいたま市記念総合体育館
Aブロック第1回戦

チームA	83	{	1st 16 2nd 14 3rd 32 4th 21	29 7 16 13	}	65	チームB
東京成徳大学 (東京)							富士学苑 (山梨)

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF			
4	久岡 真歩子	22	1	7	8	18	3	4	2	3	4	2	4	1
5	中村 莉歩	2	0	1	1	9	0	2	1	4	1	0	0	3
6	月岡 英梨	15	0	1	7	14	1	3	1	2	5	1	3	0
7	長谷川 沙希	11	0	0	2	2	7	8	4	1	6	3	3	0
8	笹尾 夏澄	0												
9	佐藤 綾乃	13	2	3	3	14	1	2	0	1	8	2	1	2
10	小室 敦美	3	0	0	1	3	1	2	1	1	0	0	0	0
11	種市 風沙	0												
12	川井 麻衣	13	3	5	2	3	0	1	1	0	5	2	7	2
13	川崎 里奈	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	田中 真実子	4	0	0	2	4	0	2	0	10	7	0	0	6
15	多久 文乃	0												
16	小澤 美咲	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
17	太田見 萌	0												
18	横川 清香	0												
コーチ	下坂 須美子							0	3	8				0
		83	6	17	26	68	13	24	10	22	36	10	18	8
	確率		35.3%		38.2%		54.2%		計	58				22

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF			
4	野中 香歩	3	1	1	0	3	0	0	2	0	0	0	1	0
5	羽田 雅音	1	0	2	0	3	1	1	3	1	2	3	2	0
6	滝口 莉子	13	1	5	5	10	0	1	5	0	3	3	1	4
7	横山 果菜	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	2
8	渡邊 愛加	18	1	13	7	18	1	4	3	3	7	2	0	1
9	池谷 妃子	0												
10	小林 春菜	9	1	13	3	9	0	0	4	1	0	1	0	2
11	中村 愛海	0												
12	都筑 ありな	4	1	2	0	0	1	1	0	0	1	2	0	1
13	高橋 優花	2	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0
14	薛 憊	15	0	0	7	9	1	1	3	6	10	1	0	2
15	羽田 美穂	0												
16	滝口 华子	0												
17	中村 史恵理	0												
18	中林 青嶺	0												
コーチ	小野 利晴							0	2	9				2



戦評

第1P 両チーム180cm代を擁する高さの戦いになる。双方ハーフコートマンツーマンスタート。東京成徳#6月岡、#4久岡のシュート、富士学苑#6滝口、#8渡邊のシュートで5対4と東京成徳リードでゲームが動く。富士学苑#8渡邊、#14薛のシュートで9対7と逆点する。東京成徳#4久岡、#14田中のフリースロー、富士学苑#14薛のリバウンドシュート、#4野中の3Pで18対9と富士学苑がリードする。さらに、#8渡邊の連続シュートで22対9と富士学苑がリードする。残り2分49秒東京成徳がタイムアウト。東京成徳#12川井の3P、#7長谷川のフリースロー、富士学苑#8渡邊の3P、#10小林のシュートで29対16と富士学苑リード。第1P終了。

第2P 東京成徳#12川井、#4久岡、#6月岡のシュートで29対22と追い上げる。富士学苑#6滝口のシュート、東京成徳#6月岡、#4久岡のシュートで31対26と5点差に迫る。残り7分33秒、富士学苑タイムアウト。双方ともオフェンスリズムが掴めず、4分間ノーゴールとなる。富士学苑#12都筑、#10小林のシュート、東京成徳#4久岡の連続シュートで36対30と富士学苑6点リードで第2P終了。

第3P 富士学苑#14薛のゴール下シュート、#6滝口、#10小林の連続3P、東京成徳#4久岡のシュート、#12川井のフリースローで44対34と10点のリードにひろがる。東京成徳#14田中の連続シュート、富士学苑#14薛、#10小林のシュートで48対41と富士学苑リードとなる。残り5分20秒、東京成徳#9佐藤の3P、#6月岡のフリースローで50対46と追い上げる。さらに、#4久岡のシュート、#7長谷川の連続フリースローでついに逆転する。さらに、富士学苑のオフェンスマスミスでファウルがかさみ、東京成徳のフリースローでリードをひろげる。62対52で東京成徳リードで第3P終了。

第4P 富士学苑は2-3ゾーンに切り替える。オフェンスリズムを少し取り戻し、#5羽田のフリースロー、#8渡邊、#6滝口のシュート、東京成徳#4久岡の3P、#12川井の3Pで68対57と東京成徳リード。残り5分56秒富士学苑タイムアウト。東京成徳#6月岡の連続シュート、#9佐藤の3P、富士学苑#8渡邊のシュートで応戦するがオフェンスのリズムが悪く、75対59東京成徳リードとなる。残り3分51秒富士学苑タイムアウト。オールコートマンツーマンに切り替える。しかしながら、東京成徳の堅いディフェンスとリバウンドを制したことにより、83対65で東京成徳が勝利をおさめる。

	65	5	36	23	53	4	8	21	13	24	14	4	4	4	17
確率		13.9%		43.4%		50.0%		計	37						

主審	吉田 憲生	副審	若林 哲	記入者	杉田一也
----	-------	----	------	-----	------